

中区にお住まいのペットの飼い主のみなさまへ

災害時にペット連れで避難するための備えについて 中区獣医師会・中区生活衛生課

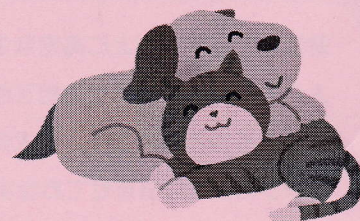
① 避難所では人が最優先！動物が苦手な人もいます



地域防災拠点（いわゆる避難所）でのペットとの生活をイメージしましょう！屋内での動物の受け入れは困難なことが多く、避難所の一角にケージ等に入れて飼育することが多いようです。避難所生活で周囲の理解が得られるためにどんな準備が必要かを日頃から考えましょ

② 飼主同士の連携体制と地域自治会の理解を得ることが大切です

災害が起きる前に、各拠点の飼主のみなさんで拠点地域内の飼育状況を把握し、ペットの飼育場所の管理運営の方法や給餌、排泄物の処理などのルールを取り決めておきましょう。その際、拠点運営委員の方と相談しながら、動物を飼っていない人にも配慮して進めていくことが大切です。ルールができれば、飼主が連携して避難訓練を行うことをおすすめしています。ルール作りや避難訓練は中区役所、中区獣医師会や関連団体もお手伝いしていますので、お気軽にご相談ください。



③ 災害対策は自助、共助が中心です



▲ケージトレーニングの様子

自分でできることをしっかりと！日頃から準備をしておきましょう。人に危害を加える可能性のあるペットや、ケージ内飼育に対応できないペット、排泄物や鳴き声で周辺とトラブルになるペットが避難所で生活するのは困難です。普段から想定してしつけをしておきましょう。日頃の準備については裏面をご覧ください。

中区生活衛生課では、地域防災拠点によるペットの災害対策取組みへの助言・お手伝いをしています。ペットの災害対策のご相談は... 中区生活衛生課環境衛生係まで (TEL :045- 224-8339)